

## 第4回 学校再編統合準備委員会 議事録

平成30年10月31日（水）  
午前10時00分～12時00分  
中央公民館 2階 視聴覚室

出席者：高橋史博、高岡宏芳、佐野尚美、前田愛美、横尾美絵、楯澤繁一、森本恭一、久保正美、高橋建夫、音田美幸、岡野宏司、中西敬雄、苧木達司、村井 亮、原井栄一、佐藤政幸（敬称略）

事務局：竹林信也、井筒 匠、上村欣也、吉村勝典、松本武彦（敬称略）

### 【開会】

※竹林教育長から資料1を用いて挨拶

### 【委員紹介】

※上村次長から前田委員の紹介

### 【議事】

(1) 校名、校歌、校章、記念式典について

※村井委員（総務部会長）から資料2～5を用いて説明

※総務部会からの提言書を承認し、準備委員会からの答申とすることを承認

(2) 通学部会からの報告

※原井副委員長（通学部会長）、松本主事から資料6～8を用いて説明

（高岡委員）

スクールバスなど色々な意見が出ていますが、3小の施設を分校といった形で2小から先生を派遣するなどして1,2年生をそこに通わせてはどうかという意見を耳にしたことがあるのですが、そういった考え方についてどう思われますか。

（井筒部長）

学校運営の観点や教職員の配置をどうするかといった部分が懸念されます。

（岡野委員）

現在、第二小学校では、給食の準備、運搬が自分達だけではできない1年生を6年生が手

伝いに行っています。登校においても部団登校で上級生が先導しますが、1，2年生だけで安全を担保しようとする保護者の負担もかなり大きくなると思いますので、1，2年生だけが別棟で生活することはかなり難しいと思います。

(中西委員)

3小でも5，6年生が1，2年生を手伝うことや指導することが、かなりの頻度であります。また、1，2年生の手伝いをするので5，6年生に責任感が身につくこともあるので、1年生から6年生が揃っているのが良いのではないかと思います。

(音田委員)

分校という形を取ると今行っている2小と3小の統合と言うテーマの元になっている「学校運営が難しくなっている」と言うところから逆行しているのではないかと思います。

また、スクールバスの件ですが、率直に言いますが、ここでスクールバスを通すと不公平です。と言うのは、1小校区の地域の子供達も同じような距離を歩いて通学しています。統合地域の方々の話のなかで子供の事を考えて出てきている意見かと思いますが、河合町全域にスクールバスを運行して欲しいと言う意見も必ず出てくると思います。

見守り隊等のボランティアの方々は「子供達の安全を守っていこう」という思いで立哨していただいていると思います。そういった地域の方々との関わり合いから社会性も育まれてくると思いますので、バスに乗って学校と家とを往復するだけと言うのは教育上どうなのかなとも思います。

(横尾委員)

トイレをお借りしたり、交通規制のある2小周辺に代わる送迎場所として、「まほろばホール」を利用できないかという意見があったと思うんですけど、どうでしょうか。

(井筒委員)

通学部会でそういう意見が有ります。「まほろばホール」については利用していただけるとはありますが、月曜日が休みとなっていますので、周辺の事業所とも現在協議しています。急な腹痛など緊急時は受け入れて頂けるようお願いしているところです。

(横尾委員)

これまで3小校区の方は3小までの距離感のなかで生活をしていました。それが遠くなることで不安だけが大きくなっていると思います。その思いを和らげるために、「まほろばホール」までの送迎や、「すな丸号」の利用を認めることはできないでしょうか。

(井筒部長)

通学部会や説明会でも通学路の安全対策で色々な意見が出ています。3kmまでは徒歩通学を前提としている町の学校再編の基本方針から当初はスクールバスについては考えていませんでしたが、通学部会や説明会で出た意見を通学部会で協議していくなかで他市町村の

運用状況なども参考にしたときにスクールバスについては現実的ではないと考えています。「すな丸号」や「まほろばホール」での送迎、あるいは路線バスの利用といったところを検討してはどうかと思います。

(横尾委員)

スクールバスとなるとお金も掛かりますし、他の学校の状況など別の問題も発生すると思うので、今あるものを暫定的に利用することはできないでしょうか。「すな丸号」の停留所を2小の前に設けるなどして、保護者に選択肢を与えることは難しいでしょうか。

(竹林教育長)

通学部会で出ている学校の選択や公共交通機関の利用というのは保護者の方がどちらか選ぶということですか。

(原井副委員長)

まだそこまでの結論に至っていません。何をするにしてもなかなか全てが円滑にはまとまりません。例えば通学方法にしても子どもがその都度選ぶとなったときに、学校側は把握しきれませんし、そのことによって1人で帰ることになる子どもが出てくることも想定されます。その中で体力的な不安が有るのならば距離の近い1小に通うという選択があっても良いのではないかと言う意見が出てきました。

(竹林教育長)

横尾委員がおっしゃられているのは「まほろばホール」まで車で送迎してそこから部団に合流する方法もあるのではないかという事ですね。

(横尾委員)

はい。2小までいくと近隣住民の方に迷惑がかかる事になるので、「まほろばホール」の駐車場を使わせてもらうなど、今ある物を活用させてもらえないでしょうか。

(原井副委員長)

その案の具体的な運用などを考えたときに学校運営に混乱をきたす可能性があります。「まほろばホール」で合流するとなれば、部団を待たさなければいけない事も出てきます。そういったことを考えると色々な問題点が生じてきます。それがクリア出来るのであれば良いが、そこまでの提案が出てきていないのが現状です。

スクールバスについても協議当初は具体的な運用イメージが無かったが、事例を並べることで、飛び地の様な所や道路が整備されていない所など、誰が聞いても仕方がないと思われるような所で運用されていることが分かってきました。

(高橋建夫委員)

路線バスという事ですが、下校時は空いていますが登校時は凄く混んでいるので、保護者

はちゃんと降りられるかも心配になってくるでしょうし、お金の問題も出てきますね。

(芋木委員長)

スクールバス、路線バスについては厳しいのではないかというご意見でした。「まほろばホール」の活用についてはご協力いただけるということですが、送迎で来た子どもの登校をどうするのかという問題が残されます。今回の会議で頂戴したご意見を参考に通学部会で引き続き協議していただきたいと思います。

(音田委員)

この委員会である程度方向性をまとめないと、同じことの繰り返しになるのではないのでしょうか。どこで決定するかを明確にしないといけないのではないのでしょうか。

(竹林教育長)

通学部会でも最終的には提言書を出してもらいます。提言書の内容に対しての修正は部会には戻さずにこの委員会で修正して総合教育会議への答申とします。

本日は中間報告ですので委員の皆さんからも個々の意見を頂戴したいという考えです。

(音田委員)

「すな丸号」など今ある物を使っていくと子ども達にも混乱が出てくると思います。仮に暫定的に期間を定めてもきっちりと守られるかも解らない。学校が遠くなる事での保護者の方の不安は皆も解っていると思いますし、通学の心配は何処の保護者も同じだと思います。子ども達それぞれに性格や健康状態も違うなかで、そこを見守りながら送迎が必要だと思えば親が個人的にされている事と思いますので、それを一律に決めてしまうは難しいと思います。

何かがあった時には親が送迎する等といった対処方法があると思いますので、基本的には徒歩で通学して部団登校の縦割りの社会のなかや、地域の方々との交流のなかで色々なことを学びながら「皆で歩いていきましょう」とする事が良いのではないのでしょうか。

(森本委員)

国にも4kmまでは歩いて登校するといった方針がございますし、県内の事例でも3kmまでは歩いている所がほとんどです。そのなかで対処法を考えたときに1小の方が近い地域もありますので、保護者の意思で通学する学校を判断してもらうことも良いのではないのでしょうか。

通学部会での協議も現地を歩いての検証などを行うことで考え方が進化していることは事実です。スクールバスのある地域の方に聞いた話では、万が一乗り遅れるとその日は学校を休まないといけなるといふ事もあるようで、徒歩であれば少しなら遅れても待つことも追いつくことも出来ます。

私も立哨していますが学校の近くまで送迎している場面を見ることがありますし、それは保護者の方の判断で行われている事と思います。

距離的には、概ねの方に徒歩通学で理解いただけると思いますし、学校の選択についても教育委員会が認めるという事であれば良いと思います。

(苧木委員長)

公共交通機関を利用するよりも徒歩による通学が良いのではないかと、徒歩による通学を行う上で距離の問題を解消する方法として学校を選択できる地区を設定してはどうかということですが他にご意見はございますか。

(音田委員)

現在の3小校区の方には1小か2小を選択できるようにすることは良いと思います。1小の方が近いエリアがかなりあるので、歩くことを前提に考えて教育委員会が認めるのであれば、近い学校に行けた方が良いでしょう。

(高橋建夫委員)

2小ができるまで、薬井地区は王寺小学校、王寺中学校に通っていた時代もありました。

(苧木委員長)

実際に運用されるようになったときにはボランティアの皆さまにご協力いただくことになるとは思いますが、徒歩で通学する事を前提に校区の選択制について通学部会で協議していただきます。

GPS機能等による見守りについてですが、これは1小校区にも波及することとしますので、そのことも含めてご意見ありますか。

(原井副委員長)

GPSについては、個人の持つ携帯電話のGPS機能を使うものと、ポイントを通ると通知が届くタイプのものがあります。

(井筒部長)

全国的に運用例もかなり多くなってきています。色々な事件もおきていますので将来的なことも視野に入れて検討していかないといけないと考えています。

(松本主事)

子どもの持つ端末は希望者の個人負担になるが、校門などに設置するポイントは行政で行うこととなります。

(音田委員)

行政がどこまで負担していただけるかだと思いますが、まずは各学校の門に設置して、その後は各家庭がどこまで必要とするかだと思います。

(村井委員)

防犯ブザーにGPS機能を付けたものも有ると聞いたことがあります。

(原井副委員長)

通学部会のなかで色々な話をしていると、3小校区の保護者はこれまで数百メートルで通っていたのが統合によって約2kmの距離を歩くことになり特に低学年について心配してらっしゃいます。少しでも安心感を得るために何とかならないかということで色々な提案が出されていますので、出来る範囲で理解を示していただきたいと思います。

(2) PTA部会からの報告

※佐藤委員 (PTA部会長)、から資料9～10を用いて説明

(横尾委員)

地区委員について、10人程度となっておりますが世帯数の割合で決めるようなことも聞きましたが、その後どうなりましたか。

(佐藤委員)

具体的にどのように地区割りをするかは次回の部会で協議します。

(横尾委員)

3小からの意見では統合後は立哨の箇所が増えることが予想されるので、少し多めに選出したいとの声もあります。

(佐藤委員)

次回の部会でそういった意見を持ち寄ることになっていきますので、協議することになると思います。

(苧木委員長)

私から本日の議事は以上となります。総務部会からは提言書が提出されました。その内容に関しまして承認をいただき、承認内容については本委員会からの答申として総合教育会議に諮ります。

通学部会については、公共交通機関を利用せず徒歩による通学を行う方が良いのではないかということ。また、1小の方が近いエリアも有ることから3小校区を学校選択地区としてはどうかということ。GPS等による子ども見守りに関しては、ポイントは行政負担、端末は保護者負担という事を視野に入れながら今後も通学部会で協議いただきます。また、「まほろばホール」の休館日には近隣の事業所にも協力いただける様に働きかけをしているとのことでした。

PTA部会については、会則等の素案を提示いただきました。今後の検討課題もありますが来年度の両校のPTA総会での承認に向けて引き続き協議していただきます。

(楯澤委員)

スクールバスの話もありましたが、通学の安全対策として人的要素である「地域の方々の見守り」という部分を今後どのように進めていくのかも大事な問題だと思います。地域と子どもあるいはP T Aとで連携して進めなければいけない。そういった事も話し合わなければいけない。2小校区と3小校区でしっかりと連携した見守りチームを作っていないといけない。

(森本委員)

中山台自治会には現在7名の見守り隊がいます。多くが希望者ですが自治会防犯部の仕事の一環としても行っています。その方々からも「やってみると楽しい」といった意見も頂戴しています。

私も楯澤委員と同じく統合に際して両校区の見守り隊で打ち合わせは行うべきだと思います。

(楯澤委員)

中山台のようなことを各自治会で進めていただいて、「子どもをいかに守って行くか」ということを地に足の着いた状態で考えるうえでこの事が一番大切ではないかと思っています。

リレー形式で子ども達の見守りを行うことを想定するなど、お互いに共通認識したうえで子どもの安全をテーマにした話し合いが出来ればと思います。

(井筒部長)

通学部会でも協力的なお話しをいただいています。通学路については現在、現地検証を行い再検討しているところですので、その作業が終り次第そういった機会を設けます。

(楯澤委員)

ありがとうございます。犯罪の抑止力になりますので防犯のグリーン帽も広げていかなければいけない。カッコ悪いと思っらっしゃる方もいるかもしれませんが、子ども達はこの帽子を見ると安心して挨拶をしてくれます。

#### 【次回の会議について】

※次回の会議は2月頃を予定

(苧木委員長)

活発なご意見をいただきありがとうございました。これをもちまして第4回学校再編統合準備委員会を終了させていただきます。長時間に渡りありがとうございました。